

令和5年度 群馬県麻しん・風しん対策会議次第

日時：令和5年7月12日（水）18:30～

形式：Zoom 開催

1 開 会

2 あいさつ

3 会長選出

4 議 事

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| (1) 麻しん及び風しんの発生動向について | P 1 - P12 |
| (2) 小児に対する第1期・第2期定期予防接種の実施状況について | P13 - P18 |
| (3) 令和元年度群馬県麻しん・風しん対策会議の取組 | P19 |
| 令和4年度各機関の取組状況について | P20 |
| (4) 令和5年度群馬県麻しん・風しん対策会議の取組（案） | P29 |
| (5) 意見交換 | |

5 閉 会

令和5年度 群馬県麻しん・風しん対策会議委員一覧

	所属・職名	氏名	
群馬県医師会	群馬県医師会	今泉 友一	
	群馬県医師会	川島 崇	
市町村	群馬県市長会会長（太田市健康づくり課長）	鴫田 久剛	
	群馬県町村会長（甘楽町健康課長）	平井 まさみ	
学識経験者	群馬大学医学部附属病院	徳江 豊	
事業者団体	群馬産業保健総合支援センター	清宮 和之	代理：西谷 慶子
保健所長会	前橋市保健所長	大西 一徳	
県教委	健康体育課長	橋 憲市	代理：六本木 則和 真藤 愛
県関係課	医務課長	佐藤 貴彦	代理：伊関 望
	生活こども部 私学・子育て支援課長	富澤 恵子	
	生活こども部 児童福祉・青少年課長	都丸 要	代理：野中 博幸
	衛生環境研究所長	猿木 信裕	
	感染症・がん疾病対策課長	中村 多美子	

麻疹（はしか）

- 空気感染、飛沫感染、接触感染によって感染
→感染力が非常に強い

※周囲にいる感受性者（免疫のない・あるいは不十分な人）に対して1人の患者が感染させる人数

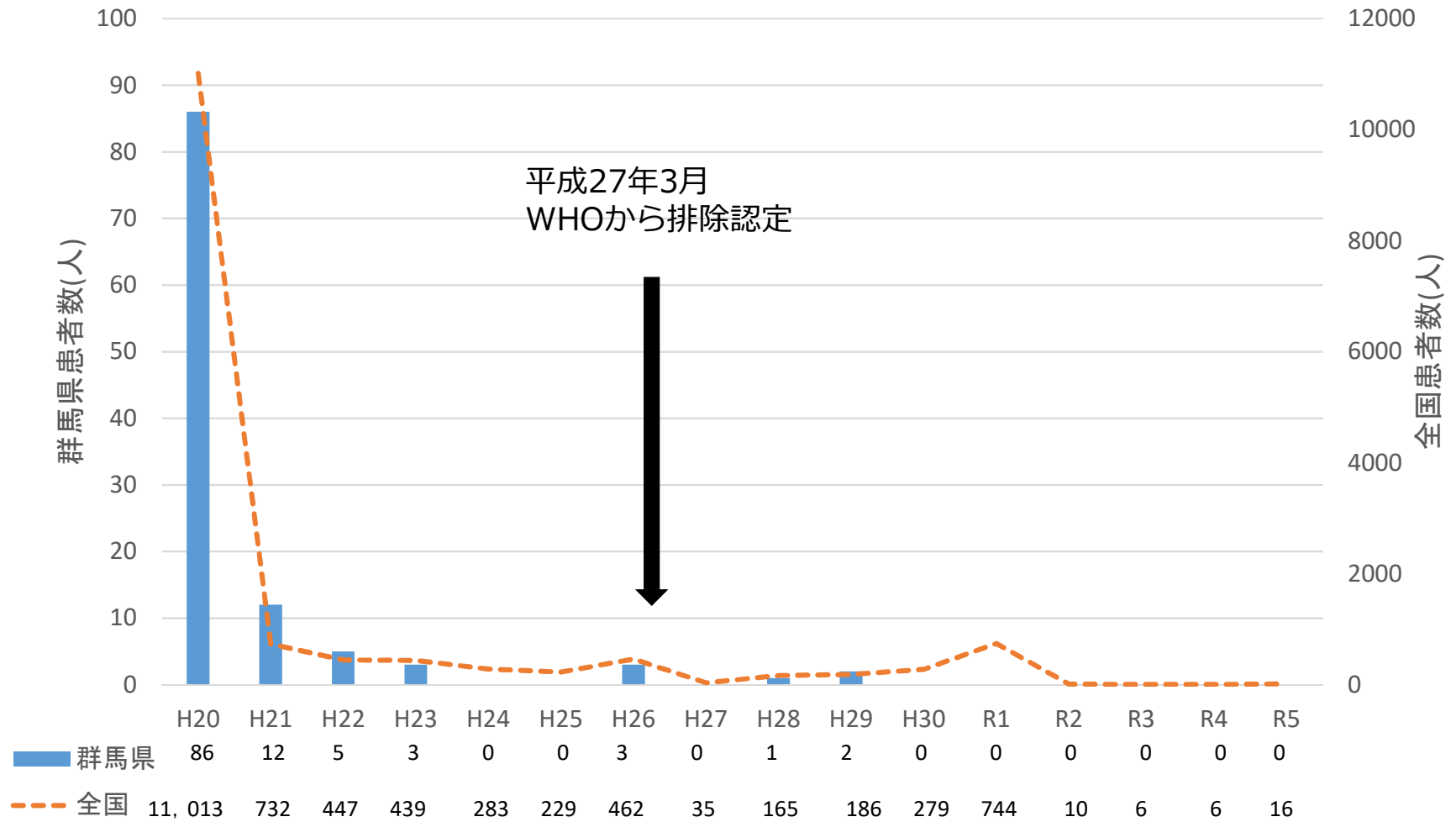
インフルエンザ 2-3人

麻疹 12-18人

免疫の無い集団で麻疹が発生するとすぐに感染拡大する

- 免疫の無い（低い）者が感染するとほぼ100%発症
- 潜伏期間：10～12日間
- 症状：発熱、発疹、カタル症状（咳、鼻水等）
- 肺炎、脳炎など、重症化することもある

麻しん患者数の推移



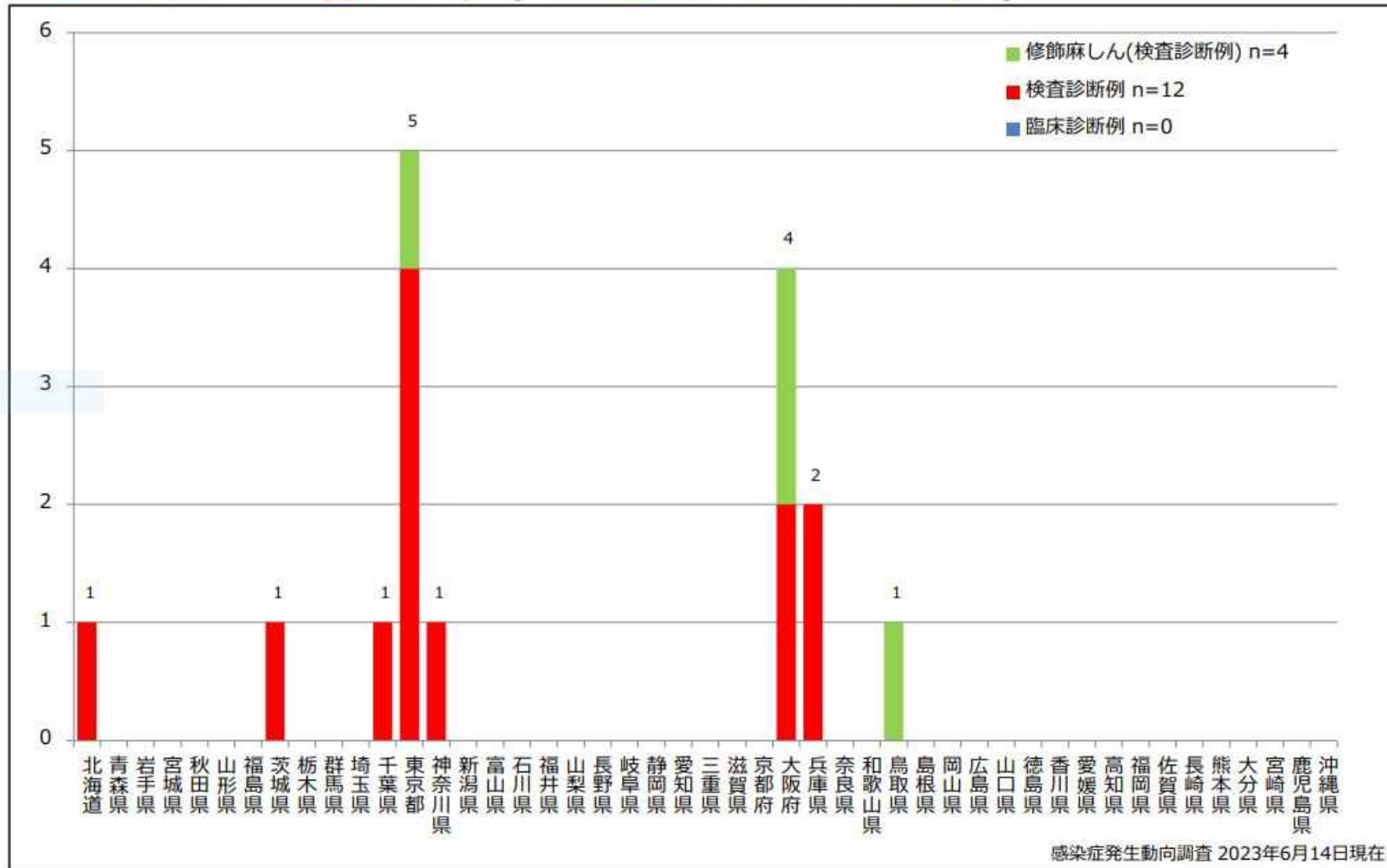
*R5年は第23週（6/14）までの集計

R5年 麻疹 都道府県別/病型別報告数

4. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 2023年 第1~23週 (n=16)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-23, 2023 (as of June 14, 2023)

■ Clinically diagnosed
 ■ Laboratory diagnosed
 ■ Modified measles, Laboratory diagnosed

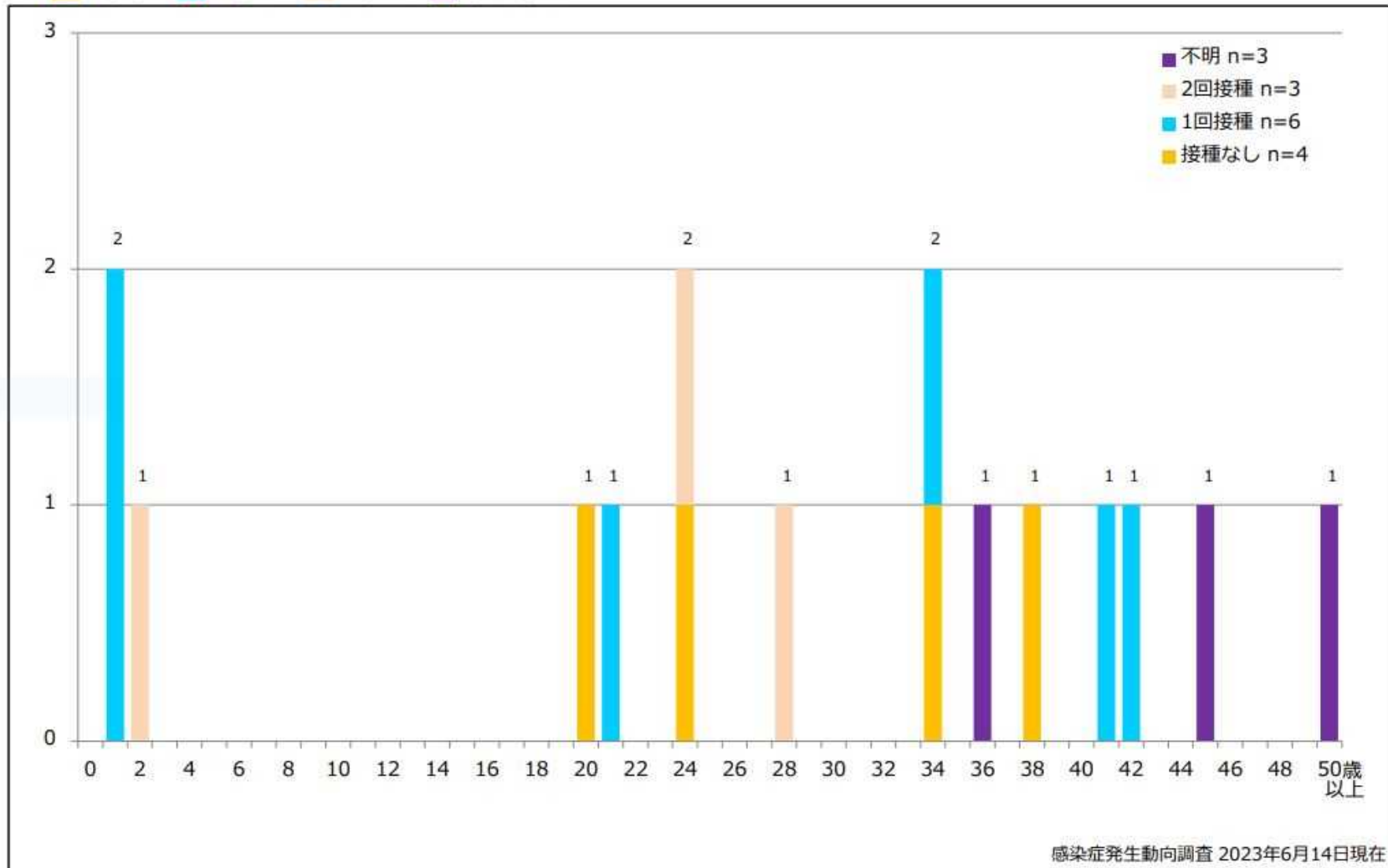


R5年 麻疹 年齢別/接種歴別報告数

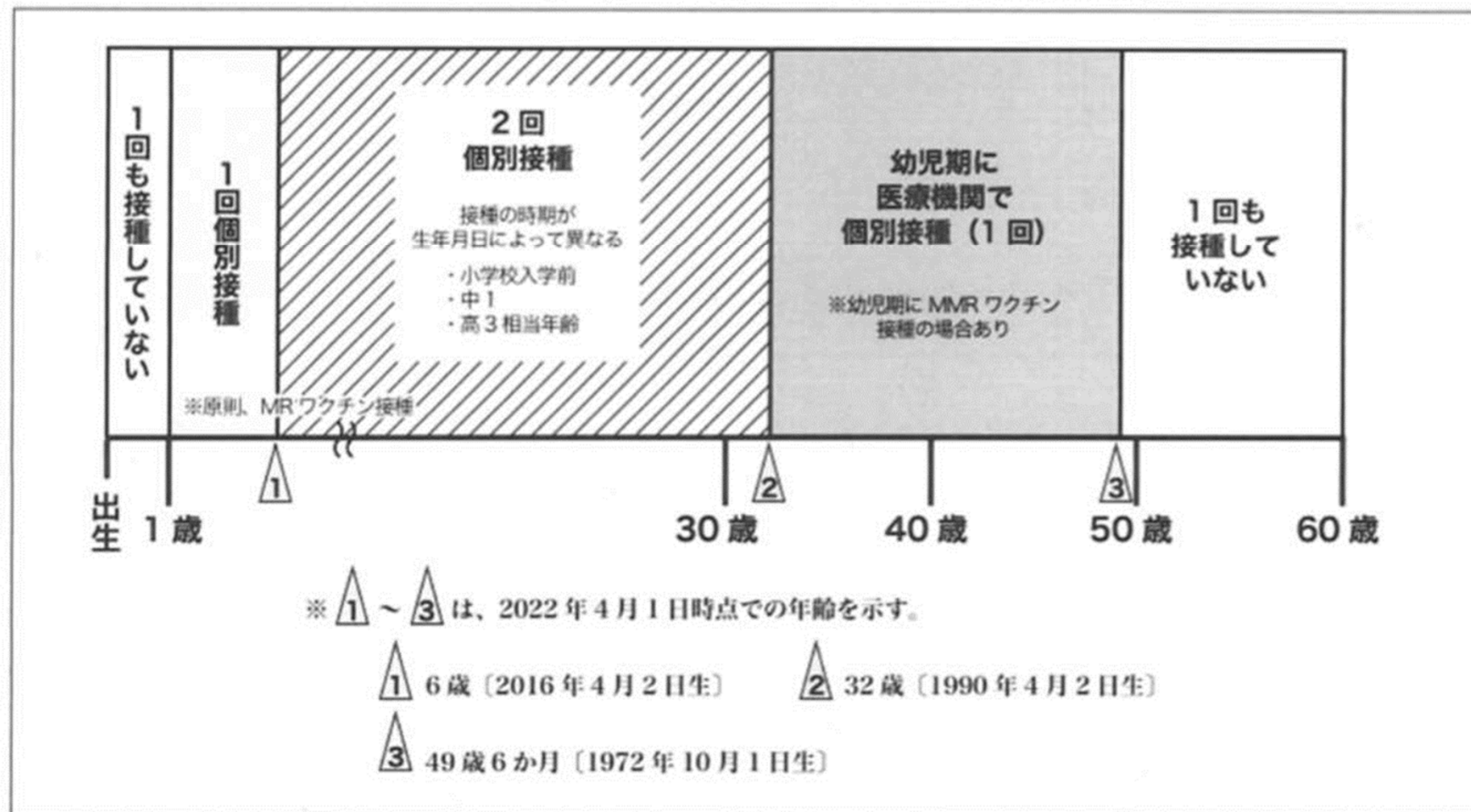
6. 年齢群別接種歴別麻疹累積報告数 2023年 第1~23週 (n=16)

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-23, 2023 (as of June 14, 2023)

None MCV1 MCV2 Unknown



1978年10月に生まれた麻しんワクチンの定期接種状況

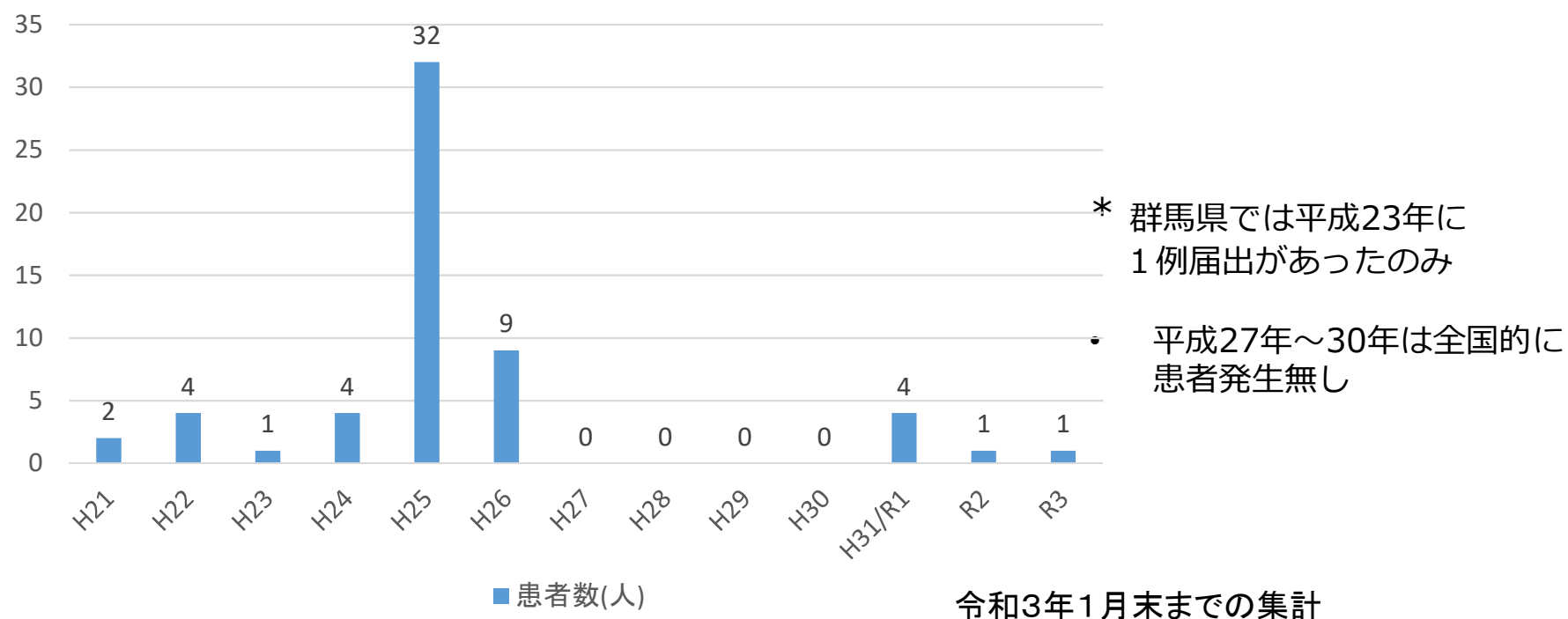


「第4回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会配付資料」厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000015044.html> をもとに作成 (2022年8月現在)

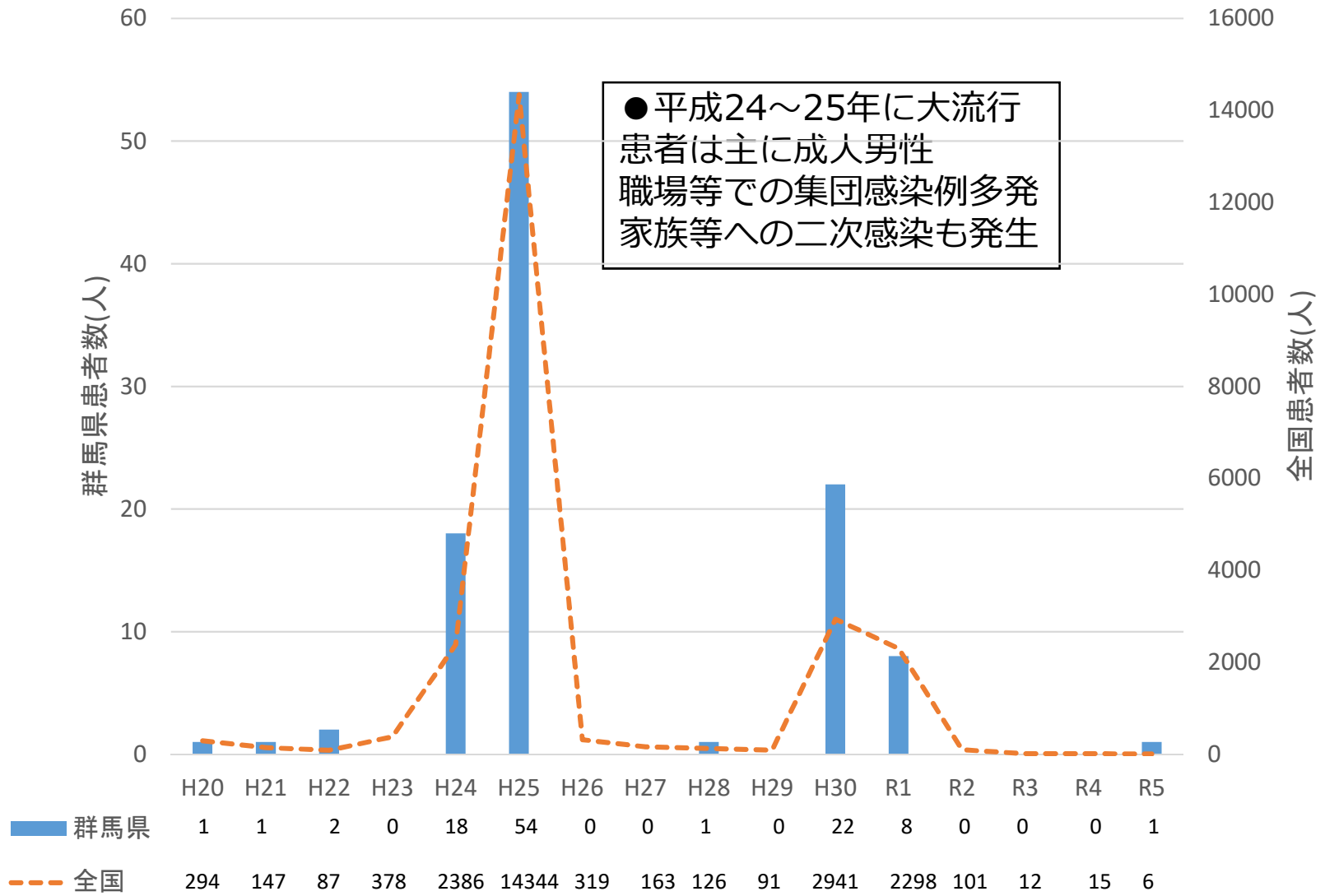
風しん

- 飛沫感染によって感染
- 潜伏期間：2 - 3週間（平均16 - 18日）
- 症状：発疹、発熱、リンパ節の腫れ
- 妊婦が妊娠20週頃までに感染 → 胎児が「先天性風しん症候群」になる可能性がある
⇒白内障、心疾患、難聴 等

全国の先天性風しん症候群患者数



風しん患者数の推移



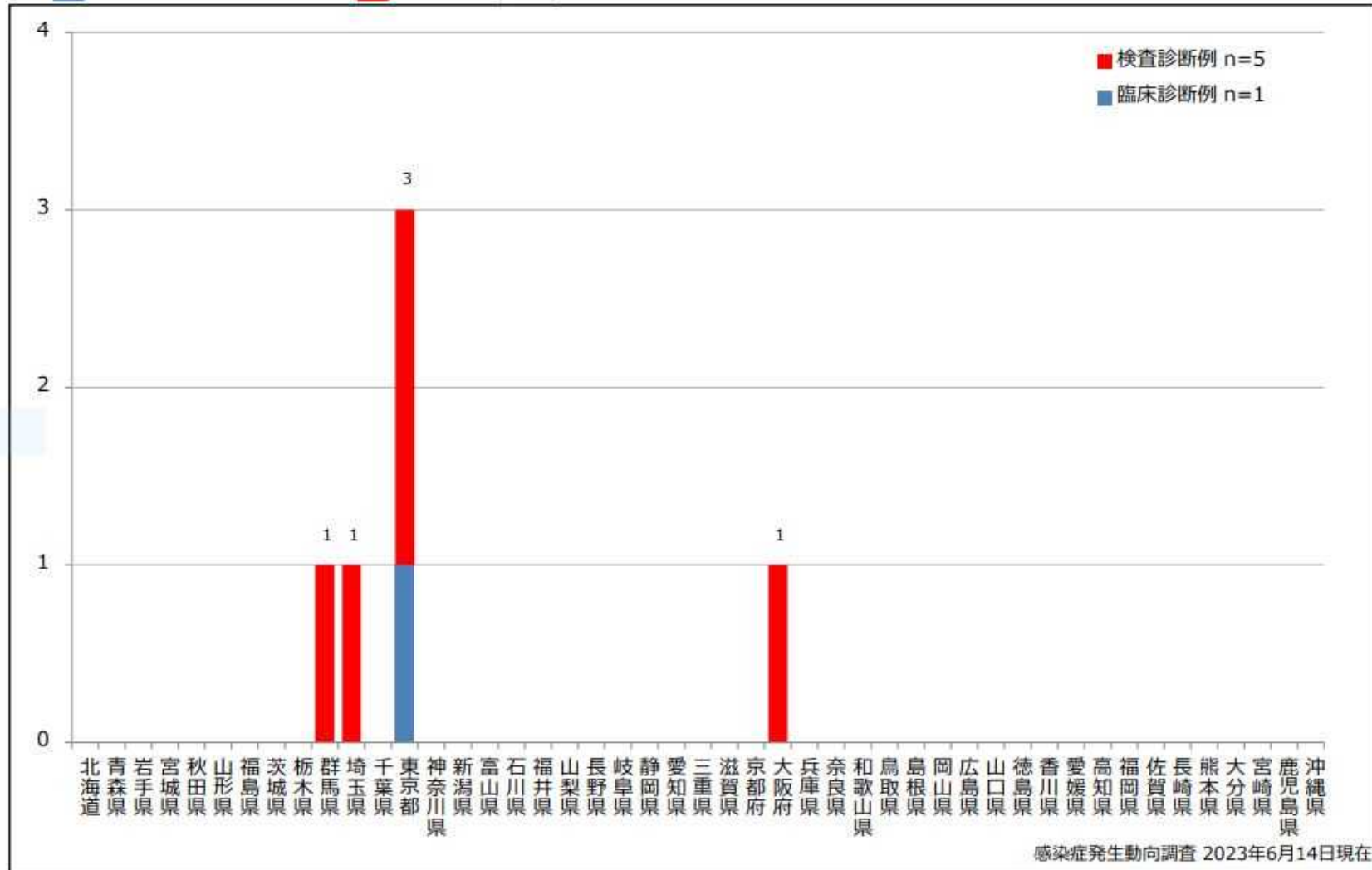
*R5年は第23週（6/14）までの集計

R5年 風しん 都道府県別/病型別 報告数

4. 都道府県別病型別風しん累積報告数 2023年 第1~23週 (n=6)

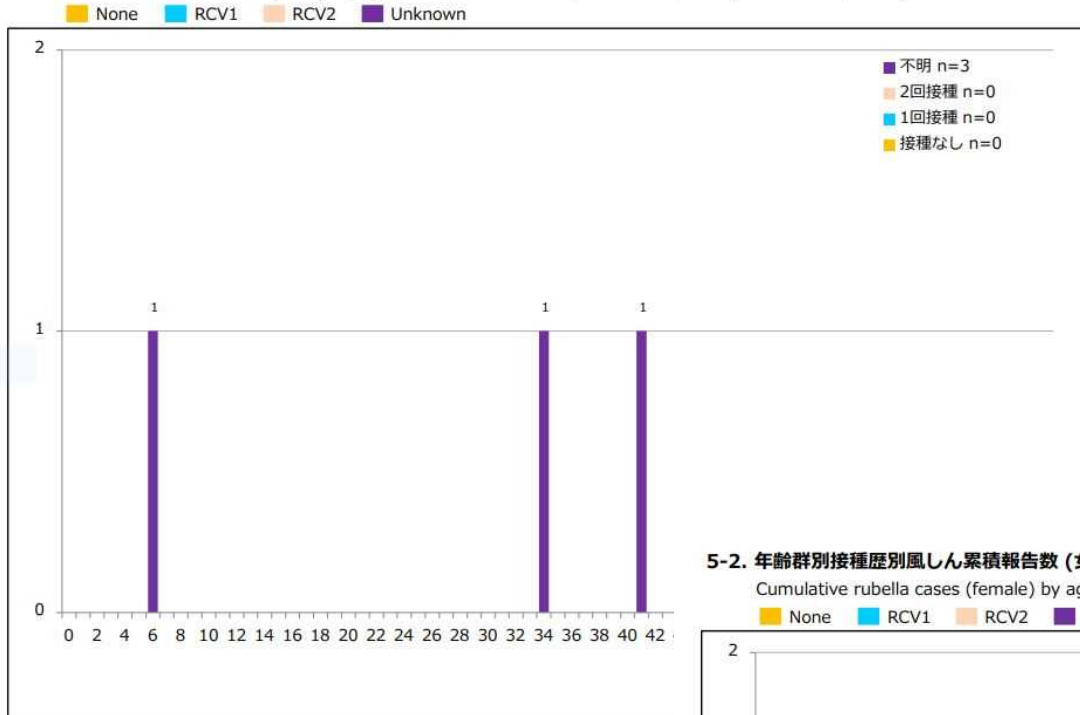
Cumulative rubella cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-23, 2023 (as of June 14, 2023)

■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed



5-1. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (男性) 2023年 第1~23週 (n=3)

Cumulative rubella cases (male) by age and vaccinated status, week 1-23, 2023 (as of June 14, 2023)



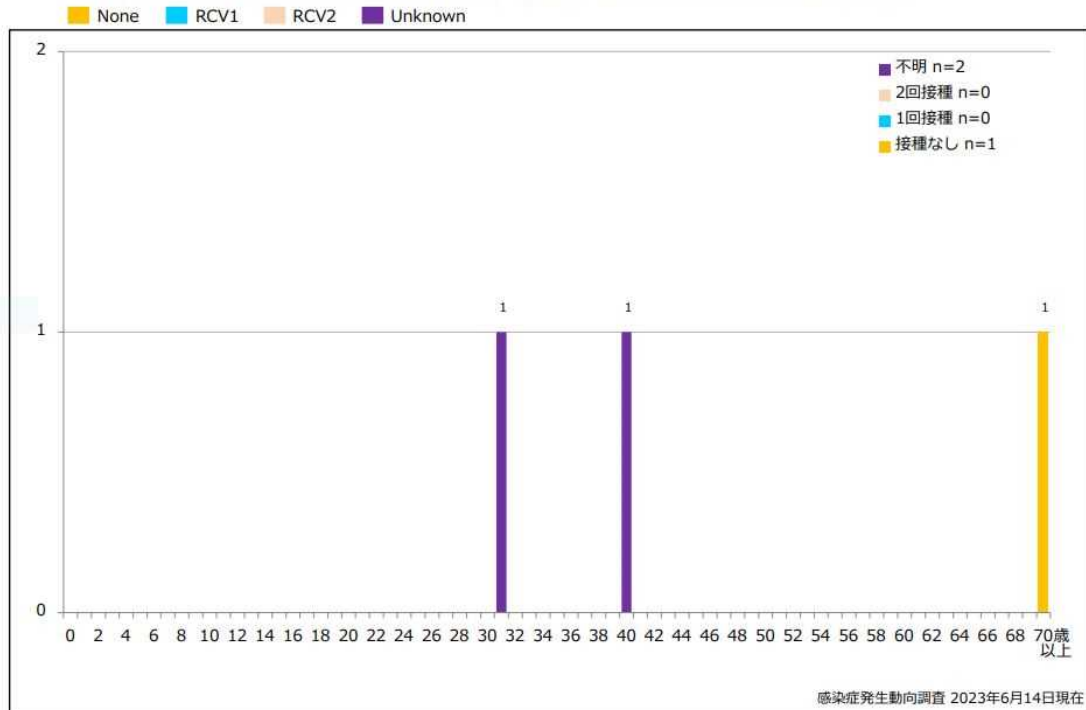
男性: 6歳、34歳、41歳

R5年 風しん
年齢別/接種歴別 報告数

女性: 31歳、40歳、70歳以上

5-2. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (女性) 2023年 第1~23週 (n=3)

Cumulative rubella cases (female) by age and vaccinated status, week 1-23, 2023 (as of June 14, 2023)



感染症発生動向調査 2023年6月14日現在

風しんの追加的対策

- 平成30年夏以降の風しんの感染拡大を受け、過去に公的に予防接種を受ける機会がなかった世代の男性を対象として、3年間、全国で抗体検査と予防接種法に基づく定期接種を実施することとした。
- 一方、新型コロナウイルス感染症に伴う受診控え、健診の実施時期の見直し等の様々な影響により、当初の見込みどおりには進まなかった。
- 風しんの流行を防止するために、当初目標まで抗体保有率を引き上げる必要があるため、目標の到達時期を延長し、引き続き追加的対策を実施している。

目標

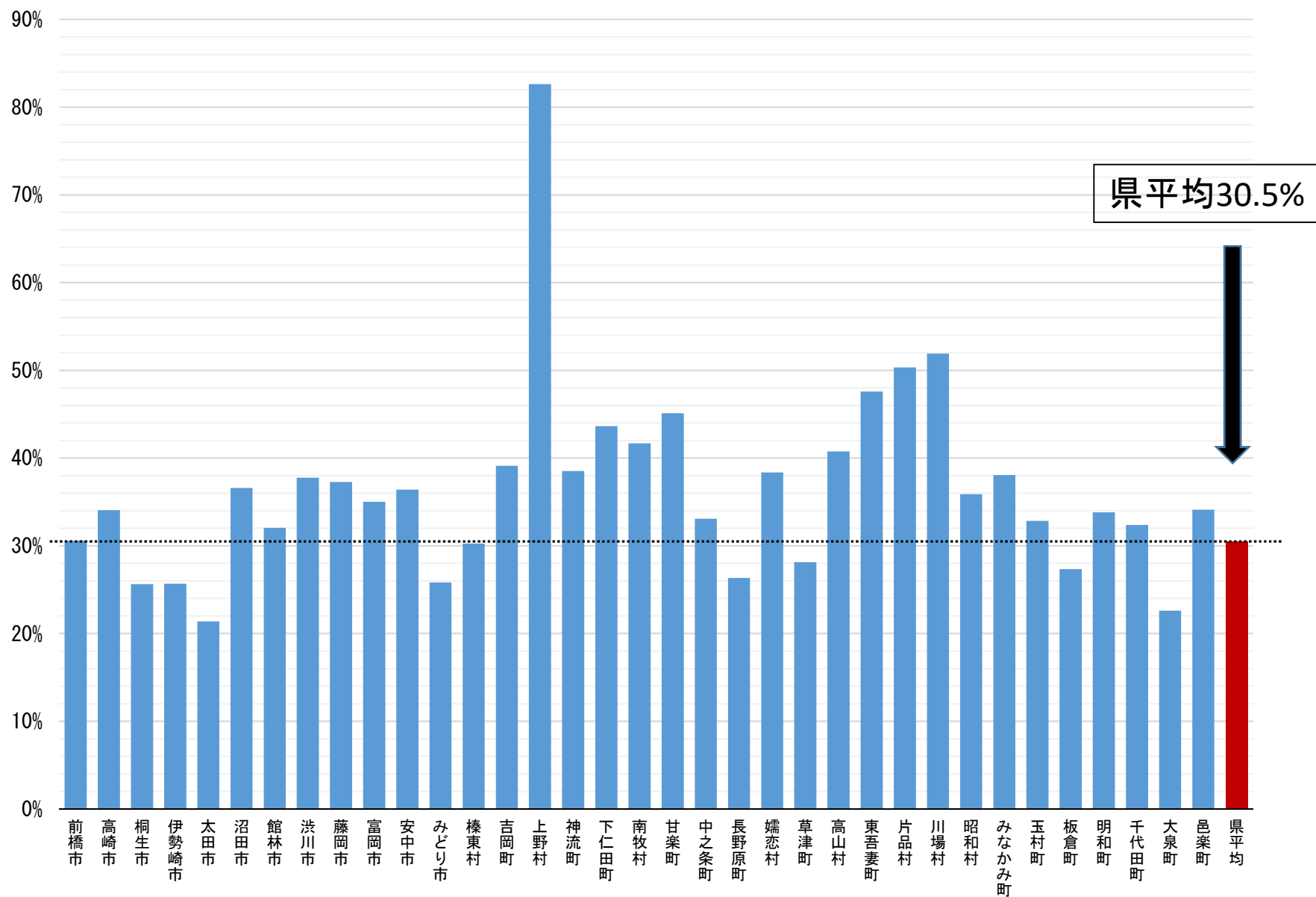
【対象】 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

- 【目標】 (1) 2021年7月までに、対象世代の男性の抗体保有率を85%に引き上げる。
(2) 2021年度末までに、対象世代の男性の抗体保有率を90%に引き上げる。

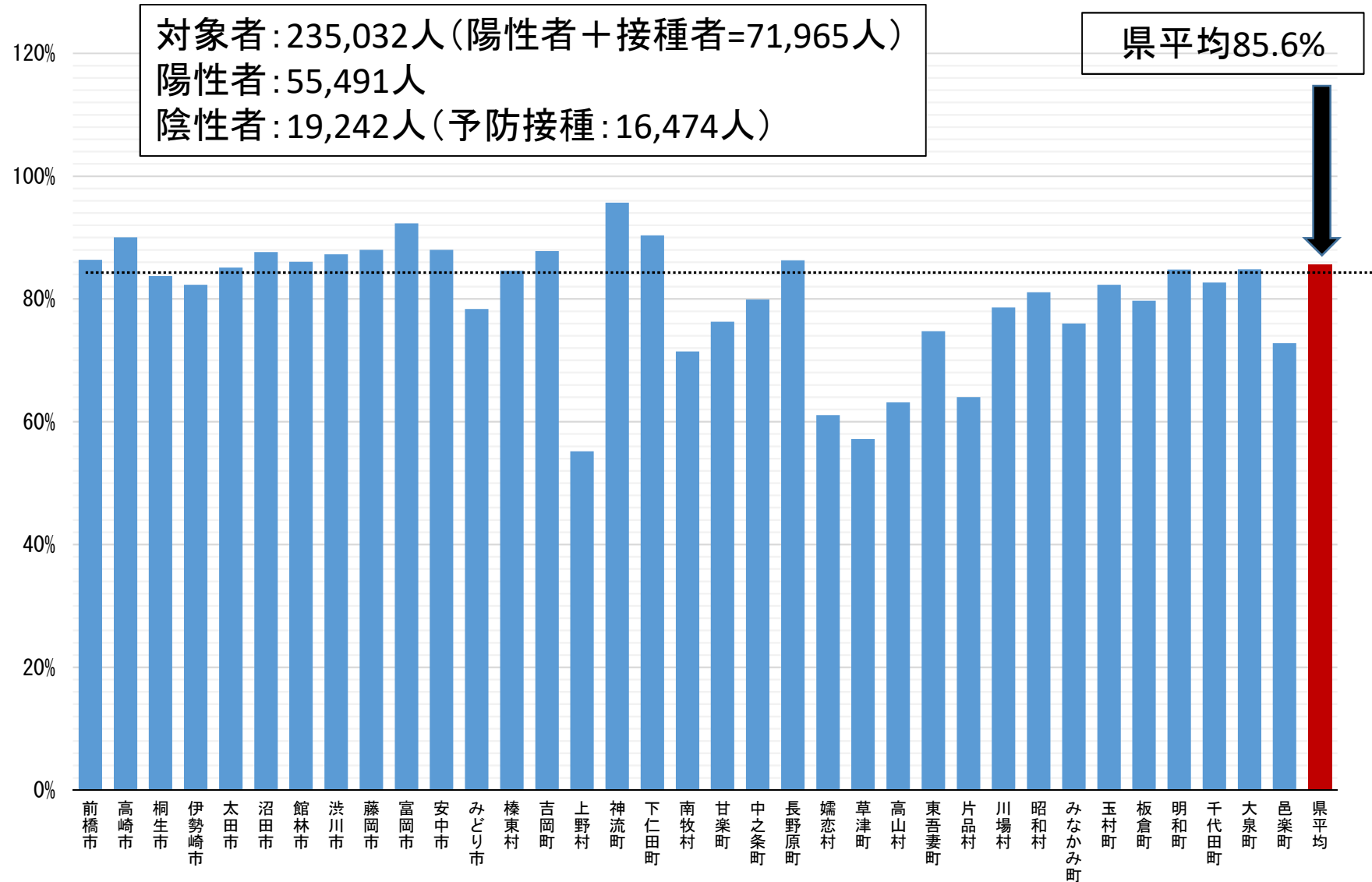
【対象】 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

- 【目標】 (1) 2022年12月までに、対象世代の男性の抗体保有率を85%に引き上げる。
(2) 2024年度末までに、対象世代の男性の抗体保有率を90%に引き上げる。

クーポン券発行枚数に対する抗体検査受験率



検査陰性者に対するワクチン接種率

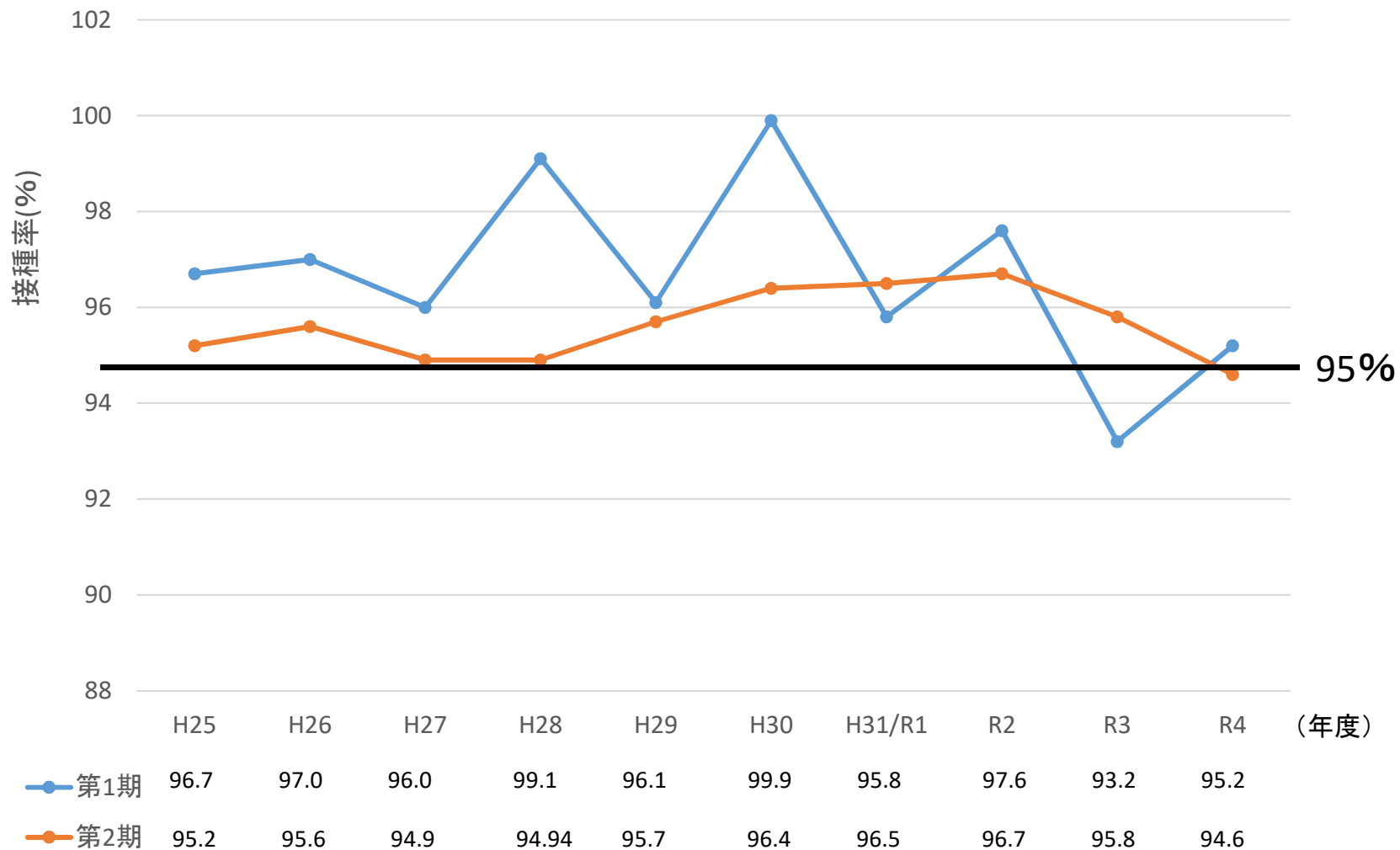


定期予防接種

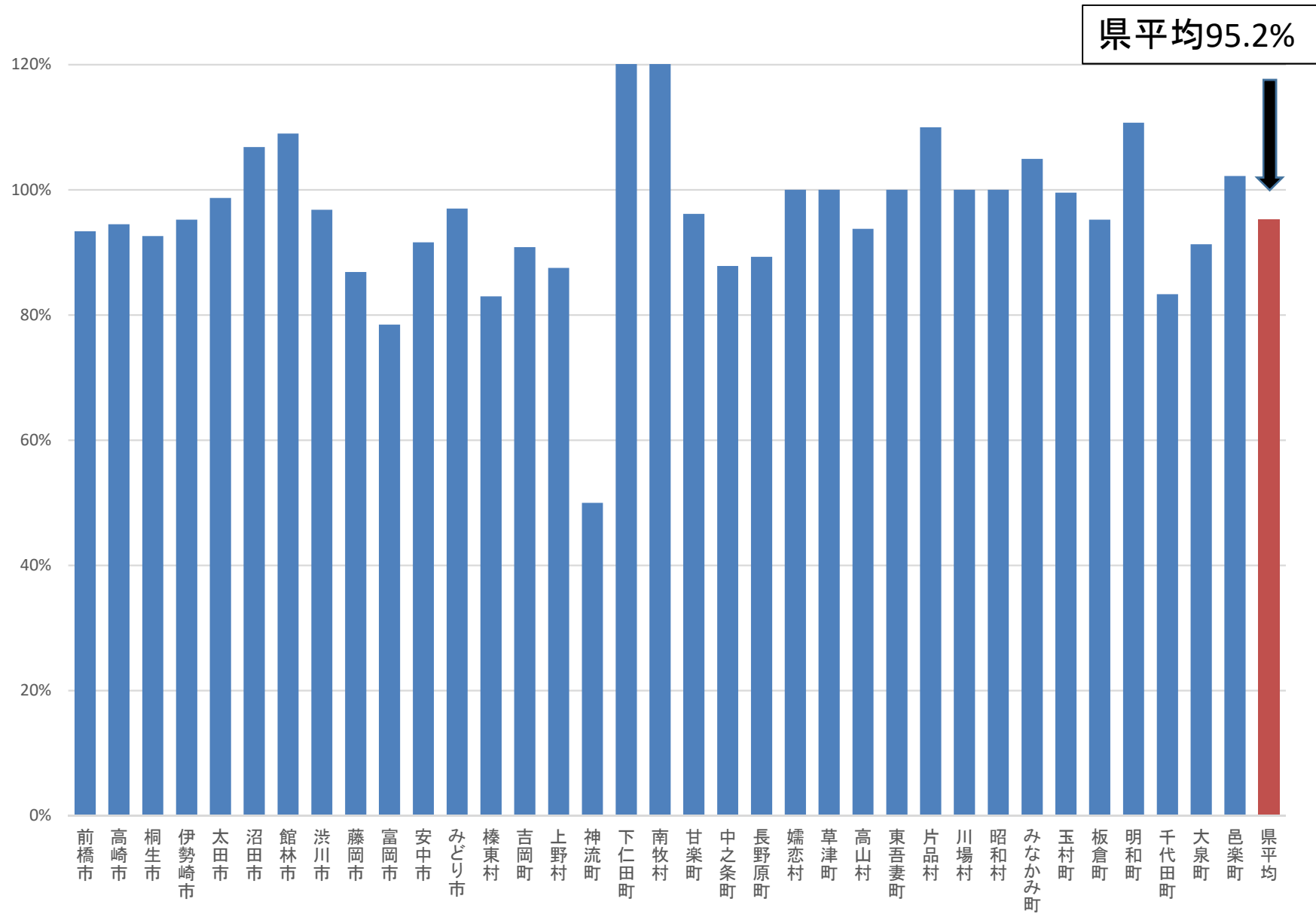
- 麻しん及び風しんはワクチン接種によりほぼ予防可能
→予防接種法により定期接種として位置づけられている
- 麻しん・風しん混合（MR）ワクチンを2回接種
 - 第1期 満1歳以上2歳未満
 - 第2期 5歳以上7歳未満で、次年度に小学校へ入学する人

（令和5年度：平成29年4月2日～平成30年4月1日 生まれが対象）
- 流行を防ぐためには、**95%以上**の接種率を維持することが必要

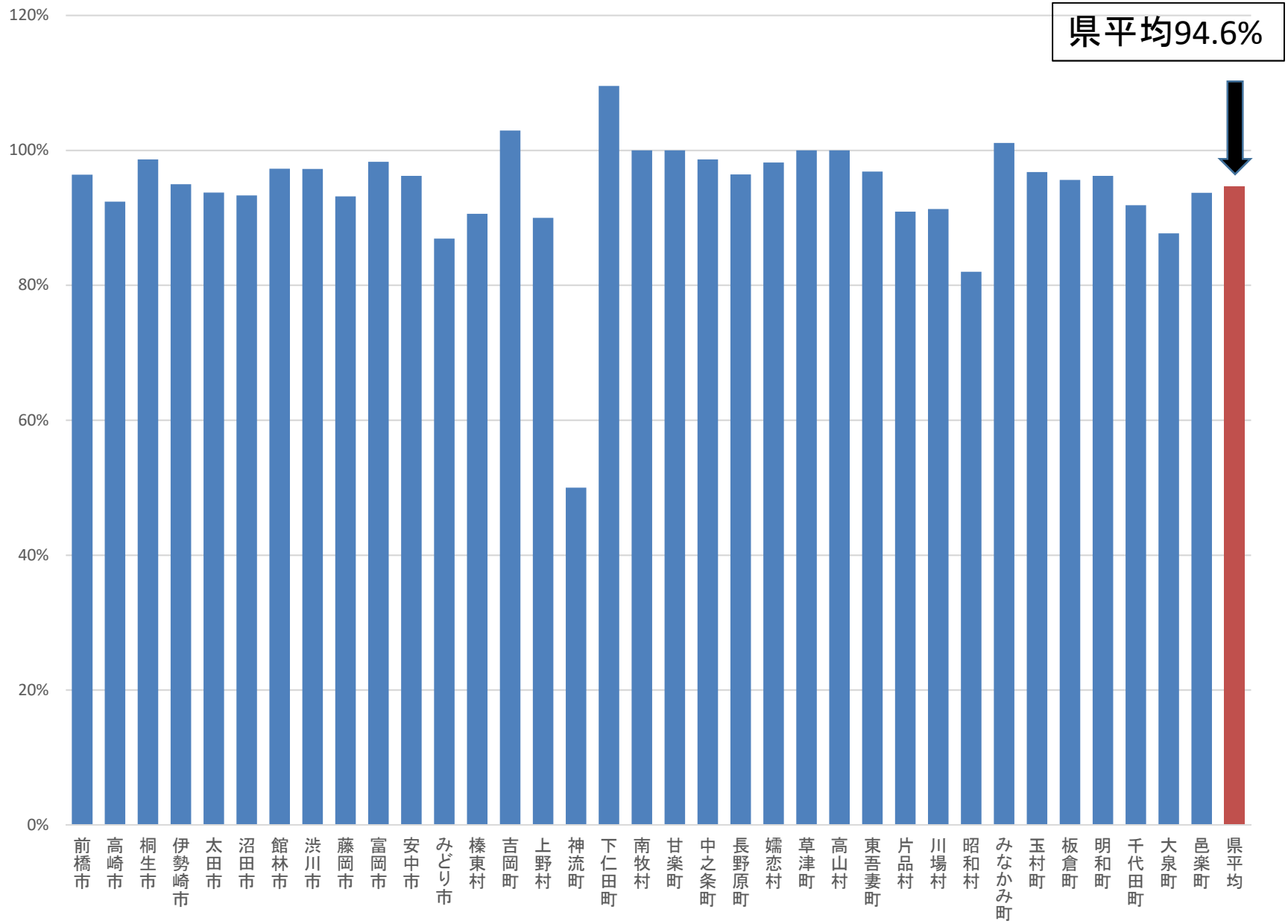
H25～R4年度 群馬県 MRワクチン定期接種率



R4年度 第1期 市町村別ワクチン接種率



R4年度 第2期 市町村別ワクチン接種率



定期接種率が95%を下回った/前年度より下がった理由

(市町村への聞き取りから)

○保護者の意識・環境上の理由

- 予防接種を希望しない保護者がいる
- コロナ禍の感染不安による受診控えで接種時期を逃す／コロナワクチン優先
- MR接種に対応できる医療機関が少なく、遠方だと足が遠のく

○勧奨の方法の課題

- 予診票の配布時期と接種時期が離れていた
- 予防接種のお知らせの見逃し（特に外国籍の住民）

○集計上・人口上の理由

- 他市町村や国外で接種した児が計上されていない（転出者や外国籍の住民）
- 対象年齢人口が少ない市町村は、一人の未接種でも接種率が大きく低下
- 対象者数の基準日の関係で、出生数の低下や対象児の転出に伴い（未接種者が居なくても）接種率が低下する

定期接種率が95%を上回った/前年度より上がった理由

(市町村への聞き取りから)

○保護者の意識向上・予防接種の積極的勧奨

- 対象者へ、はがきや電話等での勧奨
- 健診時にチラシの配布、保健師指導時の勧奨
- 健診時や入学前資料で予防接種歴を記入する機会がある
- 転入者への訪問による勧奨
- 広報等での周知

○環境上の理由

- コロナが落ち着いたことで受診しやすくなった
- 集団接種と個別接種の両方をもうけた

○集計上、人口上の理由

- 転入者や出生数が多く、接種者数が対象者数を上回った

令和元(平成31)年度 群馬県麻疹・風しん対策会議の取組

- 1 第1期・第2期定期予防接種について、95%以上の接種率を維持する。
 - ・接種率の低い市町村に対する支援、助言
 - ・第2期末接種者に対する勧奨の強化
- 2 成人男性に対する「風しんの追加的対策」を推進する。
 - ・対象者に対する事業周知
- 3 任意接種の啓発を強化する。
 - ・医療関係者、児童福祉施設等職員、学校等職員、海外渡航者、公共交通機関、観光業関係者に対する予防啓発
 - ・妊娠希望女性及びその周囲の者に対する風しん任意接種の啓発強化
- 4 平常時から患者発生に備える。患者発生時は迅速に対応する。
 - ・疑い段階からの情報収集
 - ・遺伝子検査による確実な診断
 - ・麻疹患者発生時の感染拡大防止措置の強化
(患者行動歴の公表、地域医師会等への迅速な情報提供)
- 5 麻疹・風しんに関する正しい知識を普及する。
 - ・外国人労働者受入れ企業に対する予防啓発
 - ・職場における感染予防対策の周知

令和4年度 各機関の取組状況

●教育委員会 健康体育課

1 昨年度の実績

- ・国及び県衛生部局からの連絡を学校等関係機関へ周知した。
- ・麻しん・風しん定期予防接種の接種率向上に向け、資料を作成、配布し、小学校入学説明会等で第2期対象者に対して接種勧奨等を行った。
- ・学校教職員の罹患歴、予防接種歴の把握と、抗体検査実施や予防接種勧奨を推進した。
- ・公立学校及び市町村教育委員会に対して、各種会議及び研修会等で麻しん対策について指導を行った。
- ・疑いを含め、学校における麻しん発生状況を把握し、発生等があった場合は、現場の対応確認し、指導助言を行えるよう体制を整えた。

2 今年度の取り組み(予定)

- ・関係課、関係機関と連携し、学校における麻しん対策を推進する。
- ・麻しん・風しん定期予防接種第2期対象者への積極的接種勧奨を行う。
- ・学校教職員に対する麻しん対策指導を行う。
- ・疑いを含め、学校における麻しん発生時の情報の把握と関係課、関係機関と連携した対応を迅速に行う。

●生活こども部 私学・子育て支援課

1 昨年度の実績

特記事項なし

2 今年度の取り組み(予定)

特記事項なし

●生活こども部 児童福祉・青少年課

1 昨年度の実績

- ・毎年度母子健康手帳「別冊」を作成し、予防接種の項目において、麻しん・風しんの予防接種の重要性について解説している。なお、「別冊」は市町村の協力のもと、妊娠届をした全ての妊婦に対し配布されている。
- ・毎年度、市町村から母子保健事業報告を受けて全県の予防接種件数を集計し、市町村等関係機関で共有している。

2 今年度の取り組み(予定)

- ・引き続き上記取組を継続する。

●健康福祉部 医務課

1 昨年度の実績

- ・院内感染地域支援ネットワーク相談事業を群馬県医師会に委託して実施し、医療機関からの院内感染に関する相談に対応している。(R4 は麻しん・風しんに関する相談なし)

2 今年度の取り組み(予定)

- ・引き続き、各医療機関等に対し感染拡大防止対策の周知・徹底や相談支援事業を実施していく。
- ・令和5年度家庭教育支援幼児安全セミナーにおいて、参加者に対し、麻しん・風しんの定期予防接種の啓発に係るチラシを配布した。

●衛生環境研究所

1 昨年度の実績

【麻しん風しん遺伝子検査について】

- ・麻しんおよび風しんの検査は、感染症法第十五条第3項による積極的疫学調査に基づき遺伝子検査を実施した。
- ・令和4年度は2事例(6検体)の検査を行った。検査結果はいずれも陰性であった。

【啓発事業等について】

- ・令和4年10月18日発行のトピックスで、小学校入学前の子供がいる家庭向けに、子供へのMRワクチン接種を呼びかけた。
- ・風しんの追加的対策の対象である昭和37年度～昭和53年度生まれの男性に向けて、風しんの抗体価測定及びワクチン接種を呼びかけるため、令和4年10月25日にトピックスを発行した。
- ・令和5年1月18日に保健所等の感染症担当者に対して、麻しん風しん発生時の講義と演習を行った。
- ・3月1日～3月7日の「子ども予防接種週間」にあわせて、令和5年2月28日発行のトピックスにてMRワクチンの定期接種の勧奨を行った。

2 今年度の取り組み(予定)

【麻しん風しん遺伝子検査について】

- ・昨年度に引き続き速やかな検査対応を行っている。
- ・令和3年度4月から令和5年度5月までの実績
- ・麻しん・風しんの検査実績 6事例：陽性事例なし

【啓発事業等について】

- ・国内外における麻しんあるいは風しんの流行発生時に、ホームページやトピックス等により情報提供及び予防啓発を行う。

- ・保健所等からの依頼による感染症研修会において、麻しん風しんについての情報提供・注意喚起を行う。
- ・状況に応じて保健所等に向け、麻しん風しんについて発生時の対応方法などを周知するための研修会を開催する。
- ・県内で麻しん風しんの発生があり、保健所から依頼があった場合は疫学調査を支援する。
- ・令和5年5月26日に保健所等の感染症担当者に対して、麻しん発生時の対応に関する研修を開催した。

●前橋市保健所

1 昨年度の実績

- ・前橋市広報誌に、風しん追加的対策、MR1期・MR2期接種勧奨の記事を掲載
- ・1歳6か月健診時にMR1期の接種勧奨を実施
- ・1歳8か月児のMR1期末接種者に電話連絡を実施
- ・夏休みにこども園・保育園所・幼稚園を通じMR2期の接種勧奨ちらしを配布
- ・就学時健診時にMR2期の接種勧奨ちらしを配布
- ・冬休み～入園説明会において、こども園、保育園所・幼稚園を通じ予防接種全般（MR1期、MR2期含む）の接種勧奨ちらしを配布
- ・MR2期末接種者に個別通知を送付
- ・婚姻届出窓口に風しん抗体検査事業の案内ちらしを設置
- ・母子手帳交付時に風しん抗体検査事業の案内ちらしを配布
- ・市内医療機関に風しん抗体検査事業の案内ポスターの掲示を依頼
- ・麻しん風しん対応に係る職員マニュアルの改訂

2 今年度の取り組み(予定)

- ・前橋市広報誌に、風しん抗体検査事業、風しん追加的対策、MR1期・MR2期の接種勧奨の記事を掲載
- ・1歳6か月健診時にMR1期の接種勧奨を実施
- ・1歳8か月児のMR1期末接種者に電話連絡を実施
- ・夏休みにこども園・保育園所・幼稚園を通じMR2期の接種勧奨ちらしを配布
- ・就学時健診時にMR2期の接種勧奨ちらしを配布
- ・冬休み～入園説明会において、こども園、保育園所・幼稚園を通じ予防接種全般（MR1期、MR2期含む）の接種勧奨ちらしを配布
- ・MR2期末接種者に個別通知を送付
- ・婚姻届出窓口に風しん抗体検査事業の案内ちらしを設置
- ・母子手帳交付時に風しん抗体検査事業の案内ちらしを配布
- ・市内医療機関に風しん抗体検査事業の案内ポスターの掲示を依頼
- ・麻しんの国内伝播事例の増加について市ホームページにて周知（実施済）
- ・麻しんの国内伝播事例の増加について庁内関係課への注意喚起（実施済）
- ・麻しんの国内伝播事例の増加について市医師会、市立前橋高校、前橋工科大学への注意喚起（実施済）
- ・前橋市麻しん対応マニュアルの改訂及び関係機関への周知

●高崎市保健所

1 昨年度の実績

【感染症対策担当】

- ・医療機関への職員の予防接種歴等の把握状況の確認

【予防接種担当】

- ・市の広報誌に風しん5期・高崎市の風しん抗体検査及び予防接種助成事業についての記事、定期予防接種の勧奨記事を掲載
- ・ラジオ高崎において、定期予防接種の接種を呼びかけ
- ・1月に麻しん・風しん混合2期の予防接種未接種者に対して個別勧奨通知を発送

2 今年度の取り組み(予定)

【感染症対策担当】

- ・麻しん風しん患者（疑い含む）発生時に医療機関や関係機関と迅速な連携をとり積極的疫学調査を実施
- ・医療機関、学校関係者等への情報提供

【予防接種担当】

- ・7月に保育園・幼稚園の年長児に対し定期予防接種の接種勧奨チラシを配布予定
- ・市の広報誌、ラジオ高崎等における接種勧奨の呼びかけ
- ・1月に麻しん・風しん混合2期の予防接種未接種者に対して個別勧奨通知を発送

【県保健所共通の取組】

- ① 群馬県風しん抗体検査受診券発行時における任意予防接種の勧奨
- ② 医療監視における職員抗体保有状況等の確認及び指導
- ③ 保健所における疫学調査員の感受性調査
- ④ 患者（疑い例含む）発生時の積極的疫学調査

● 渋川保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・ ①、③

2 今年度の取り組み(予定)

- ・ 学校等欠席者・感染症情報システムのお知らせ欄を活用し、情報共有・啓発を行う。
- ・ 感染症対策研修会での麻しん、風しん予防や予防接種についての情報提供を行う。

● 伊勢崎保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・ ①、③

2 今年度の取り組み(予定)

- ・ 5/24 伊勢崎地域感染対策合同カンファレンス本会議にて、麻しんの国内発生状況及び疑い時の対応について、医療機関（病院、医師会会員医師など）に周知を行った。

● 安中保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・ R5.3.23 安中市医師会員あてに、麻しん・風しん発生時対応について再確認いただくよう働きかけた。
- ・ (通報業務についてや疑い患者に対して採取をお願いしたい検体等の説明リーフレットを作成し、会員人数分を医師会へ配布)

2 今年度の取り組み(予定)

- ・ 研修会等の人が集まる機会に、流行状況についてお知らせを行う。定期接種の勧奨を呼びかける。

●藤岡保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・①、③

2 今年度の取り組み(予定)

- ・社会福祉施設向けの感染症研修会で麻しん・風しんについての啓発内容を追加する。

●富岡保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・令和5年3月当所のホームページで掲載している「感染症情報(富岡保健所版 週報)」において、「子ども予防接種週間」について取り扱い、麻しん風しん混合ワクチン(特に第二期)の定期接種を受けるよう地域住民等へ啓発した。

2 今年度の取り組み(予定)

- ・令和5年5月当所のホームページで掲載している「感染症情報(富岡保健所版 週報)」において、国内での麻しんの発生についてを取り扱い、地域住民等へ麻しんに関する注意喚起を行った。
- ・令和5年6月当所のホームページに麻しんに関する情報提供を行うページを新設。
- ・令和5年6月地域の拠点病院(公立富岡総合病院)へ麻しん・風しんPCR検査用の検体採取セット及び説明文を配布。
- ・令和5年6月富岡市甘楽郡医師会を經由して各医師会員に当所で作成した「受診した患者が麻しん疑いだった場合の医療機関対応フロー」および「麻しんについての情報提供」を送付、ならびに、流行性疾患通報業務について周知。

●吾妻保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・①、③

2 今年度の取り組み(予定)

- ・9月～11月頃、保育所向けの研修会において、麻しん、風しん予防について講義内容に盛り込む
- ・企業(地域・職域連携推進会議オブザーバー企業)等に県で作成したパンフレットまたはチラシを配布する(感染症・がん疾病対策課で作成をお願いしたい)

●利根沼田保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・麻しん・風しんに関する感染症発生動向調査トピックスを振興局庁舎に掲示し、ワクチン接種や抗体価測定に関する周知を図った。

2 今年度の取り組み(予定)

- ・麻しん・風しんに関する感染症発生動向調査トピックスを振興局庁舎に掲示し、来所者に対して周知を図る。
- ・管内の養護教諭会で麻しんや風しんに関して情報提供し、患者(疑い含む)発生時対応について周知した(5月)。
- ・学校感染症情報収集システムを活用し、管内の保育所・幼稚園・学校等に麻しんに関する情報提供及び注意喚起を実施した(5月)。
- ・保育所・幼稚園等を対象とした感染症研修会の中で、麻しん風しん対策について説明(6月)。
- ・管内のICT連絡協議会において、麻しん風しんの現状や対策等について適時情報提供する。
- ・6年3月、こども予防接種週間にあわせて、コミュニティ FMOZE にて定期接種の勧奨を呼びかけ。

※注意喚起等については、上記等の対応を流行状況に合わせて適時実施する。

●太田保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・①、③

2 今年度の取り組み(予定)

- ・風しん及び麻しんのリーフレットを配布・所内設置
- ・FM 太郎にて麻しん・風しん予防啓発を実施(8月予定)

●桐生保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・①、③

2 今年度の取り組み(予定)

- ・令和5年5月22日、事務所ホームページ(健康に関する注目情報)で麻しん(はしか)に関する注意喚起を掲載(実施済)
- ・令和5年5月19日、地域基幹病院(桐生厚生病院・東邦病院)のICNと麻しん・風しん(疑い含む)発生時の連携確認(実施済)
- ・地域関係機関へ配信予定の感染症情報(感染症だより)に掲載
- ・FM 桐生にて呼びかけ

●館林保健福祉事務所

1 昨年度の実績

- ・①、③

2 今年度の取り組み(予定)

- ・R5年5月、医療機関の合同カンファレンスで、国内での麻しん患者発生について情報提供し、「流行性疾患患者通報業務」の周知と「医療機関での麻しん対応ガイドライン」の確認をお願いした。
- ・地域・職域連携推進協議会等を通して、広く啓発を行う。

●健康福祉部 感染症・がん疾病対策課

1 昨年度の実績

(1) 定期接種対象者向け啓発、勧奨

- ・子ども予防接種週間(3月1日～3月7日)にあわせてFMぐんまでスポットCMを放送(令和5年2月6日～3月7日)
- ・FMぐんま ワイグルプレフ、県政インフォメーションにて「お子様の麻しん・風しんの予防接種はお済みですか？」を放送(令和5年2月27日)
- ・ぐんま広報2月号に「入園・入学前に麻しん・風しんの予防接種を」を掲載
- ・群馬県広報課ツイッターによる広報(令和4年5月13日及び9月9日)
- ・患者発生時の対応・流行性疾患通報業務

県内の麻しん・風しんの発生を迅速に把握するため、「疑い」の段階で医療機関から郡市医師会へ通報する(県医師会への委託事業)。

該当疾患を診断した医師が、各郡市医師会へ通報 → 各郡市医師会から県医師会、県医師会から県へ報告 同時期に医師会員へ情報がFAXされる

- ・県保健所の疫学調査員に対する抗体保有状況の確認

2 今年度の取り組み(予定)

- ・昨年度の取組を継続して実施。
- ・マスメディア、県公式SNS等を活用した広報を継続
- ・風しんの追加的対策(抗体検査・第5期定期接種)の周知
- ・ワクチン安定供給のため、県内医薬品卸業者の在庫量と納入量を必要時に把握
- ・観光業関係者への予防啓発

令和5年度 群馬県麻しん・風しん対策会議の取組（案）

- 1 第1期・第2期予防接種について、県平均95%以上の接種率を維持する。
 - ・接種率の低い市町村に対する支援、助言
 - ・未接種者に対する勧奨の強化
- 2 成人男性に対する「風しんの追加的対策」を推進し、県内市町村の受験率の上昇と、予防接種対象者のうち未接種者の減少をめざす。
 - ・対象者に対する事業周知
 - ・未接種者に対する勧奨の強化
- 3 抗体検査・任意接種の啓発を強化する。
 - ・医療関係者、児童福祉施設等職員、学校等職員、海外渡航者、公共交通機関、観光業関係者に対する予防啓発
 - ・妊娠希望女性及びその周囲の者に対する風しん任意接種の啓発強化
- 4 平常時から患者発生に備える。患者発生時は迅速に対応する。
 - ・疑い段階からの情報収集、関係機関連携（情報共有）
 - ・遺伝子検査による確実な診断
 - ・麻しん患者発生時の感染拡大防止措置の強化
(感染拡大防止のため、必要な限度で、患者が感染性のある時期に立ち寄った場所等の公表・医師会等への迅速な情報提供を実施)

各地域における麻しん・風しんのまん延防止の取り組み状況調査（R5.7月実施）

1. 令和4年度の実績（実施内容）**【前橋市医師会】**

- (1) ワクチン接種を勧奨するために、保育所（園）・幼稚園入所時健康診断、就学時健診、小学校入学説明会での保護者への説明およびパンフレット配布等で接種率の向上に努めた。
- (2) 先天性風しん症候群の予防対策である抗体価検査費用全額助成、および①妊娠を希望する女性、②妊娠を希望する女性の同居の配偶者、③風しん抗体価が低い妊婦の同居の配偶者、④妊婦健診で抗体価が低かった産婦（産後6か月まで）へ風しん単独ワクチン3,000円、麻しん風しん混合ワクチン5,000円の接種費用一部助成を行う前橋市単独事業に協力した。
- (3) 麻しん・風しん排除運動
 - ①群馬県医師会より協力依頼されている麻しん・風しん（疑い含）患者発生状況報告（全数把握調査）について会員に周知・徹底を喚起した。
 - ②前橋市麻しん対応マニュアルを活用し、速やかに会員に麻しん及び風しん（疑い含む）患者の発生状況情報を提供した。

【高崎市医師会】

- (1) MRワクチンの接種歴確認と勧奨
 - ①健診時：1歳6ヶ月健診・3歳児健診、保育園・幼稚園・こども園の入園時及び定期健診、学校の就学時健診・定期健診。
 - ②個別勧奨：MRワクチンの接種率向上のため、MR2期の未接種児に対して勧奨の通知を個別に郵送。
 - ③コロナ禍のMR1期接種率が低下：小児科医会を中心にキャッチアップを勧奨する。
- (2) 成人の風しん流行阻止（先天性風しん症候群の予防対策）

対象：妊娠を希望している女性、妊娠を希望している女性の配偶者や同居の家族、風しんの抗体価が低い（HI法であれば16倍以下）と診断された妊婦の配偶者や同居の家族、及び風しん抗体検査の結果が、「HI法※で16倍以下」に相当する値の方、「風しんの第5期の定期予防接種」の対象者であって、抗体検査の結果が「HI法で8倍を超え、かつ16倍以下」に相当する値であった方。

ワクチン接種の一部助成：麻しん・風しん混合ワクチン 5,000円
風しんワクチン 3,000円
- (3) 風しんの第5期定期予防接種（風しんの追加的対策）

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性・未接種の方には、複数回お知らせを発送している。
- (4) その他
 - ①高崎市の広報・HP、高崎市医師会のHPにより、風しんに対する啓蒙を行った。
 - ②群馬県医師会より協力依頼されている麻しん・風しん（疑い含）患者発生状況報告について会員に周知した。

【桐生市医師会】

- (1) 乳児期のワクチン接種時に、その都度今後予定されているワクチンの確認、有用性、勧奨を行う。
- (2) MR ワクチンについては、1 歳時と就学前の 2 回の接種が重要であることを理解して頂いて、就学時検診では接種漏れがないか全例のチェックを行う。
- (3) 教育委員会などの行政に協力を依頼して、幼稚園や保育園、小学校での接種勧奨を行う。
- (4) 市が発行している広報きりゅうにて、市民に周知を図る。
- (5) 地域メディアを利用したの更なる広報活動 (FM ラジオ、桐生タイムス等)。
- (6) 成人の風しん予防対策について、各医療機関への協力要請。

【伊勢崎佐波医師会】

- (1) 1 期については、乳幼児健診等で接種勧奨を行った。
- (2) 2 期については、年度当初に個人通知を発送し、広報掲載、HP、個人通知を配布、電話等で接種勧奨を行った。
- (3) 平成 25 年度より、大人の風しん予防接種一部費用助成事業を行っている。
- (4) 伊勢崎市については、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ベトナム語の予診票を作成し配布 (希望者のみ)。

【太田市医師会】

- (1) ワクチン対象者の未接種者に対して、複数回の接種勧奨。
 - 1 期：1 歳 6 ヶ月健診で案内、1 歳 9 ヶ月に葉書郵送。
 - 2 期：就学時健診時に案内、1 月と 3 月に葉書郵送。
- (2) 英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・ベトナム語の間診票を作成し配布。
- (3) 大人の風しんワクチン接種費用の助成。
(風しん単独 3,000 円、麻しん風しん混合 5,000 円)

【群馬郡医師会】

高崎市保健医療部保健予防課が主導

- (1) 対象者に対して、個別に予防接種予診票を発送
- (2) 接種勧奨のためチラシを配布
- (3) 未接種者に勧奨通知を発送
- (4) 広報高崎にて周知

【渋川地区医師会】

- (1) 市町村広報誌・ホームページ掲載、ポスター掲示
 - ・渋川市…就学時健診で、各学校を通じてパンフレット配布
- (2) 乳幼児健診で接種歴確認と勧奨
- (3) 個別勧奨
 - ・渋川市… (MR 2 期) 年 3 回通知、未接種者へ電話勧奨
 - ・吉岡町… (MR 2 期) 年 3 回通知

- ・榛東村… (MR 2期) 4月に通知、未接種者へ年2回(夏休み前・冬休み前)通知、
(MR 1期) 未接種者へ毎月通知
- (4) 先天性風しん症候群の予防として、対象者へワクチン接種費用の一部を助成
- (5) 風しん第5期追加対策
 - ・渋川市…全対象者へクーポン券を配布
 - ・吉岡町…町実施検診来庁者へ勧奨
 - ・榛東村…未検査者へクーポン券、検査勧奨通知を発送

【藤岡多野医師会】

〔藤岡市〕

第1期：対象者 327人 接種者数 284人 接種率 86.9%

第2期：対象者 410人 接種者数 382人 接種率 93.2%

・第1期における取組

各健診などにおいて、未接種者へ高等で勧奨を行っている。また、2歳になる3か月前までに接種が確認できない児は、保護者に対してハガキで勧奨を行い、必要に応じて直近に電話で直接勧奨することもある。そのため実績では接種率 86.9%となるが、令和4年度中に2歳になる児(転出入除く)における接種率 97.3%(325/334人)であった。

・第2期における取組

年度初め・保育園等の夏休み前・就学時健診時・学校見学時に全員に勧奨し、1月頃までに接種の確認ができない児に対しては個別通知で勧奨を行っている。

〔神流町〕

- ・定期接種対象者への個別通知による周知、接種勧奨の実施。※2期対象者は2名。
- ・定期接種の対象外で医師が必要と認める場合、2回接種で1回につき 11,000 円の助成金を交付。※実績なし。
- ・妊娠を希望している女性・夫・同居する家族及び、定期予防接種の対象外で医師が必要と認める場合、抗体価検査(HI法、LTI法に限る)4,930円(税別)、予防接種1回 11,000円の助成金の交付。※抗体価検査2名、接種1名の実績あり。
- ・風しん追加的対策事業において、抗体価検査未実施者全員にクーポン券の再発行と個別鑑勧奨を実施。※対象者 104名

〔上野村〕

- ・乳幼児については、保険時が助産師とともに新生児訪問へ伺う時に、予防接種の大切さについて冊子を持参し説明を行った。
- ・令和4年度 第1期対象者8名のうち接種者は7名。
- ・第2期対象者10名のうち接種者9名の実績となった。
- ・まん延防止について、最初から保護者の方へ意識づけを行っている。
- ・第5期の方について、抗体検査等実施していない方へ令和4年度もクーポン券を配布した。

【富岡市甘楽郡医師会】

1. 富岡市

- (1) MRワクチン接種率向上のため、6カ月に1回接種済みの確認を行い、未接種者に対しては1年に1回接種勧奨を行っている。
- (2) 成人の風疹抗体価測定に関して、市の広報を通じて周知させている。

2. 甘楽町

- (1) MRワクチン接種率向上のため、毎月接種済みの確認を行い、未接種者に対してはその都度接種勧奨を行っている。
- (2) 成人の風疹抗体価測定に関して、クーポン郵送時に抗体測定勧奨を行っている。

【安中市医師会】

令和4年度は麻しん、風しんともに発生の届出はなかった。

MRワクチンの対象者については、1期は出生届の際に保健師からワクチン接種のスケジュールについて具体的な説明を個別に行っている。2期については接種勧奨を広報などを通じて行い、年明けになっても接種しない対象者の保護者には個別の連絡を行うことで接種を促している。

令和4年度のワクチン接種率は1期：91.6%、2期：96.2%であった。

【吾妻郡医師会】

行政への協力を行った。医師会全体としては、特に行動実績はない。

【沼田利根医師会】

(1) 小児のMR（1期、2期）

接種の周知徹底を目指し、毎年度複数回の接種勧奨している。お知らせは、市町村ホームページや広報に掲載のほか、乳幼児健診や就学時健診で未接種者への声掛けを行い、接種期限が近づいている未接種者へは、電話やハガキ等で個別に連絡をしている。

令和4年度の接種率（1期、2期）は以下。

沼田市：106.8%、93.3%	みなかみ町：104.9%、101.1%
昭和村：100%、82%	片品村：110%、90.9%
川場村：100%、100%	

(2) 成人風しん予防対策

各市町村が妊娠を希望する女性およびそのパートナーへの予防接種費用一部助成を施行。各市町村ホームページ、広報、チラシ等で周知を呼びかけた。

【館林市邑楽郡医師会】

会としては特になし。市町、県の取り組みに協力。

2. 令和5年度の取り組み（予定）

【前橋市医師会】 昨年度の取り組みを引き続き継続。

【高崎市医師会】 昨年と同様。

【桐生市医師会】 昨年度と同様の取り組みを行う予定。

【伊勢崎佐波医師会】

- (1) 昨年同様の取り組み実施と風しん第5期定期接種を推進していく。
- (2) 麻しん、風しん発生時の患者情報の共有について検討していく。

【太田市医師会】 前年度と同様の取り組みを継続。

【群馬郡医師会】 引き続き医師会内の医療機関に周知する。

【渋川地区医師会】 昨年度までと同様の取り組みを継続して実施。

【藤岡多野医師会】

〔藤岡市〕

令和4年度同様、各勧奨を行う予定である。また、今年度の第2期の対象者から年度初めの勧奨の際に予診票を同封して発送している。

〔神流町〕 令和5年6月30日現在として

- ・定期接種対象者への個別通知による周知、接種勧奨の実施。※2期対象者1名。送付済
- ・定期接種の対象外で医師が必要と認める場合、2回接種で1回につき11,000円の助成金を交付。※実績なし
- ・妊娠を希望している女性・夫・同居する家族及び、定期予防接種の対象外で医師が必要と認める場合、抗体価検査(HI法、LTI法に限る)4,930円(税別)、予防接種1回11,000円の助成金を交付。※実績なし
- ・風しん追加的対策事業において、抗体価検査未実施者全員にクーポン券の再発行と個別鑑奨を実施。※対象者86名。送付済

〔上野村〕 令和4年度 同様の取り組みをしていく。

【富岡市甘楽郡医師会】 令和4年度と同様の予定。

【安中市医師会】

令和5年度は例年の取り組みに加えて、国内の麻しん発生事例に鑑み、各保育施設へ啓発リーフレットを配布した。

【吾妻郡医師会】

行政の取り組みに積極的に協力していく。麻しん・風しんのまん延防止のポスターを院内掲示して、住民への啓発防止に努める。

【沼田利根医師会】

- (1) 小児の接種は、令和4年度は途中転入もあり接種率が100%を越える自治体も多かった。今年度も、気を引き締めて、例年通り未接種者洗い出しを徹底し、個別連絡も含めた周知を行ない接種率向上に努めていく予定。
- (2) 成人の接種も各市町村で引き続き接種費用の公費助成が決まっている。

【館林市邑楽郡医師会】

会としての予定はない。引き続き市町、県の取り組みに協力する。